

cado

取扱説明書

Deodorizing Sanitizer

PG-E 300

重要

このたびは、カドー除菌消臭器「PG-E300」を
お求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書および
別冊の「安全上のご注意」をお読みください。
本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

cado

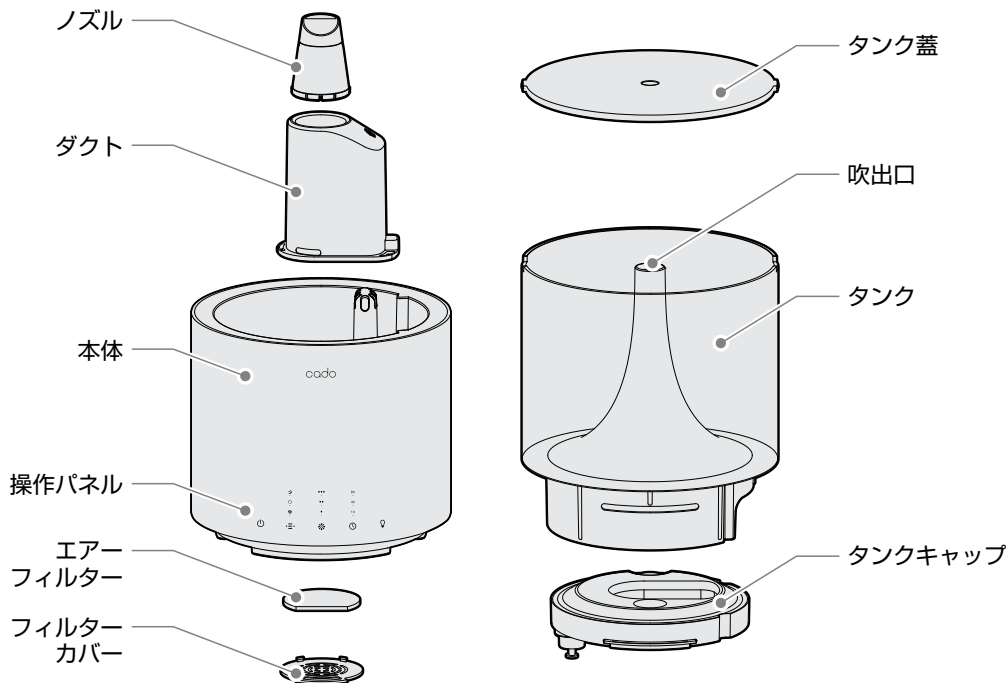
目次

各部の名前	3	お手入れのしかた.....	15
本体.....	3	フロートの着脱方法.....	23
本体上部(内面).....	4	水槽部カバーのお手入れ.....	25
本体底面.....	4	内部乾燥機能.....	26
本体の組み立て.....	5	タンクキャップの取りはずし方法.....	27
タンクにピースガード※ ¹ を入れる.....	8	ピースガード※ ¹ について.....	28
設置について.....	9	長時間使用しない場合.....	28
使いかた.....	10	安全機能について.....	29
操作パネル.....	10	ダクト検出.....	29
運転を開始する.....	10	異常水位検出.....	29
運転モードを変える.....	11	本体動作異常検出.....	29
間欠モード.....	12	故障かな?.....	30
連続モード.....	12	仕様.....	35
タイマー運転.....	12		
照度調整機能.....	13		
湿度の状態.....	13		
タンク下部インジケーター(間欠モード).....	14		
給水のめやす.....	14		

※¹除菌・消臭剤ピースガードは株式会社
ピースガード社の登録商標です。

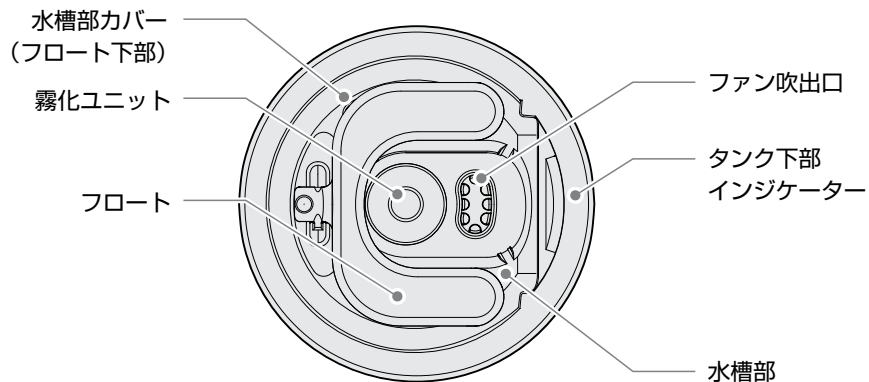
各部の名前

本体

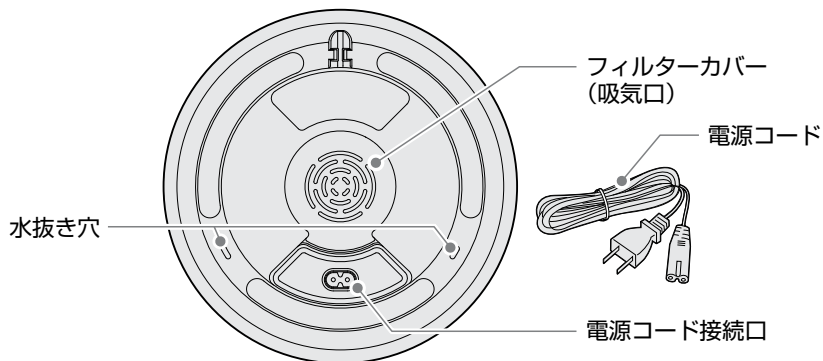


- ・タンクキャップは水槽部への給水を制御する大切な部品です。必ず取り付けてご使用ください。
- ・付属のタンクキャップには水の硬度を下げる機能はありません。

本体上部(内面)

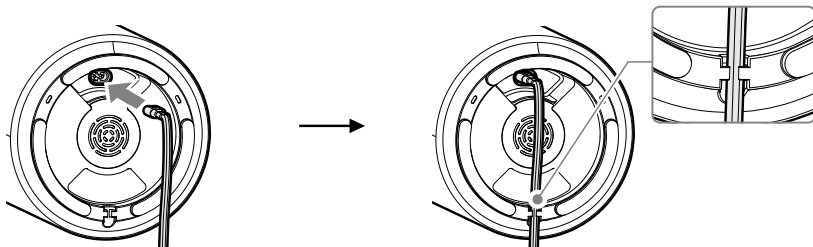


本体底面



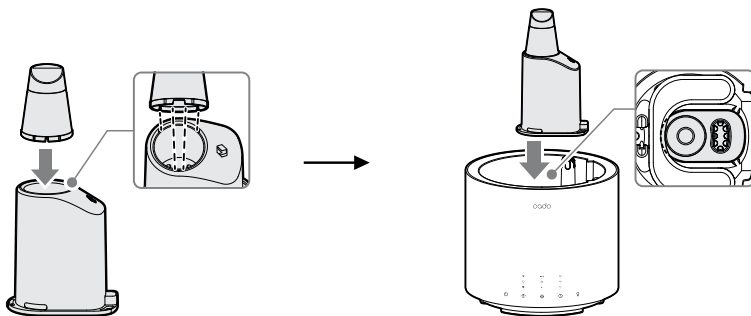
本体の組み立て

1. 電源コードを電源コード接続口に差し込み、電源コードを固定します。



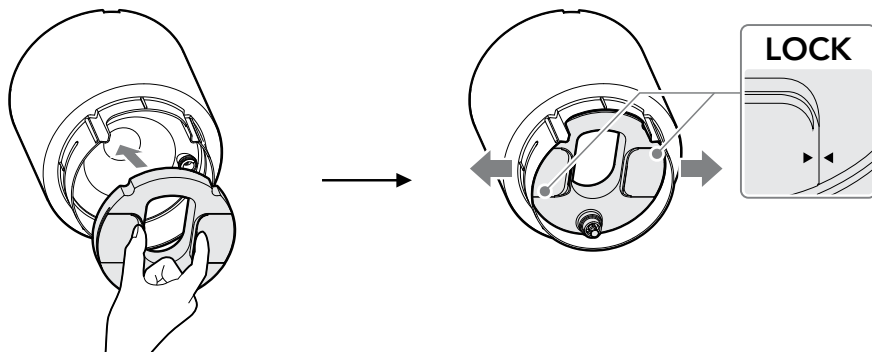
誤動作の原因になりますので、電源コードは奥までしっかりと差し込んでください。

2. ダクトとノズルの突起部をあわせて取り付け、ダクトをフロートの下へくぐらせて水槽部に取り付けます。

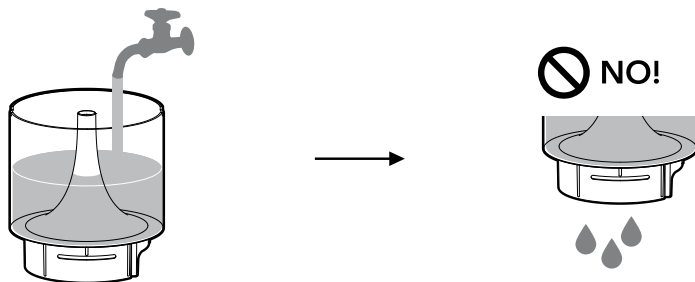


霧化不良の原因になりますのでノズルは必ず取り付けてください。

3. タンクキャップのロックレバーをつまみながら、左右のロックレバーがロックする位置までタンクに差し込みます。

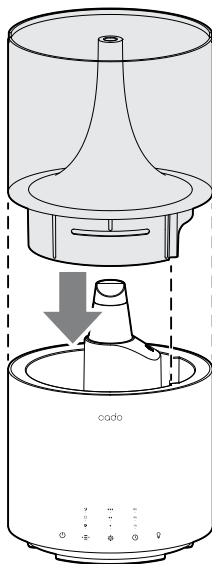


4. タンクに水を入れた後、しばらく時間を置き、タンクの裏から水漏れがないことを確認します。水漏れが発生している場合は、水を捨て、タンクキャップを正しく取り付け直してください。

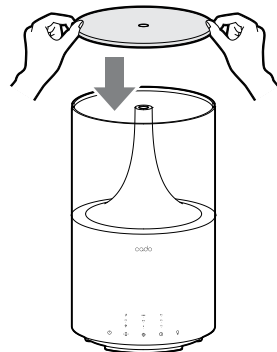


タンクキャップは給水制御も行うため、取り付けずに使用すると水漏れが発生します。タンクキャップは必ず取り付けて、水漏れがないことを事前に確認してください。

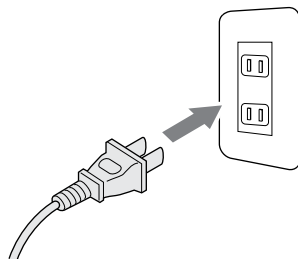
5. タンクを本体の奥までゆっくり差し込みます。



6. タンクにタンク蓋を取り付けます。



7. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源が正常に接続されると、操作パネル、
タンク下部インジケータのすべてが
約2秒間点灯します。

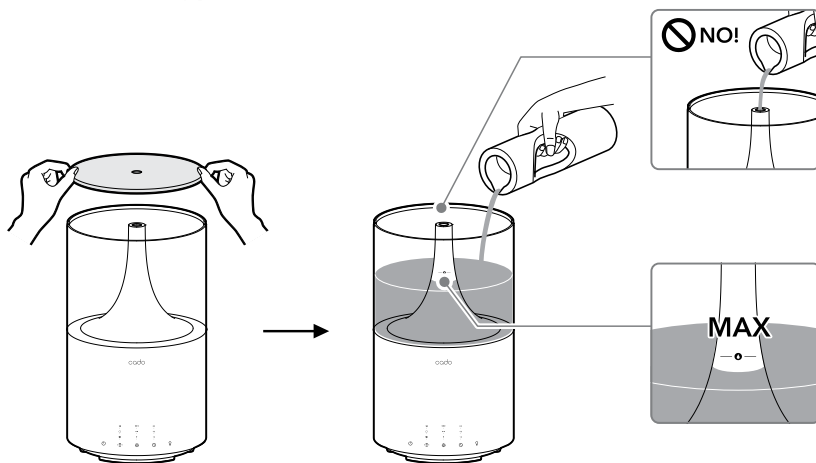


タンクが奥まで差し込まれていないと
水槽部への給水不良や水漏れの原因に
なります。

タンクにピースガードを入れる

- ❗ お好みに合わせて、ピースガードを水道水で薄めてご使用ください。1倍(原液)から約10倍(原液1に対して水道水9)までの希釈を推奨いたします。
- 水道水以外は使用できません。汲み置きした水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は雑菌繁殖の原因になります。また、純水や蒸留水を使用すると水位検出が正常にできず、水漏れの原因となります。
- 定期的にお手入れを行ってください。(週1回以上を推奨)

1. タンク蓋の両側にある指かけを持って、タンク蓋を取りやかん等でタンクに水、ピースガードの順に入れ、タンク蓋を閉じます。

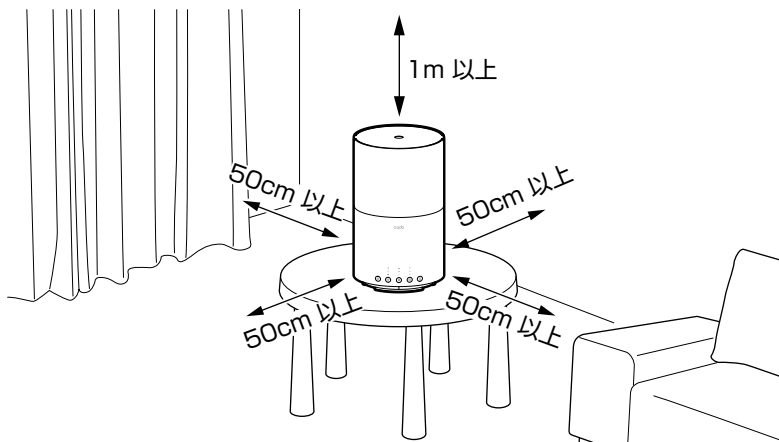


- ❗ 吹出口に直接ピースガードや水道水を注がないでください。水槽部から水が溢れ、水漏れや故障の原因になります。

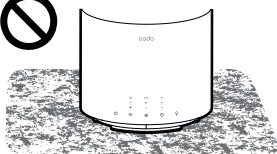
設置について



- 本機の性能を十分に発揮するために壁や周囲から適切な距離をあけて設置してください。特に吹出口の上部は1m以上あけてください。
- 誤作動の原因になりますので、本体を移動する場合は運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いてください。

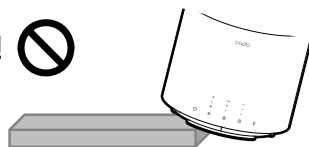


NO!



毛足の長いじゅうたんの上で使用しないでください。本機が傾いたり、吸気口がふさがり故障の原因になります。

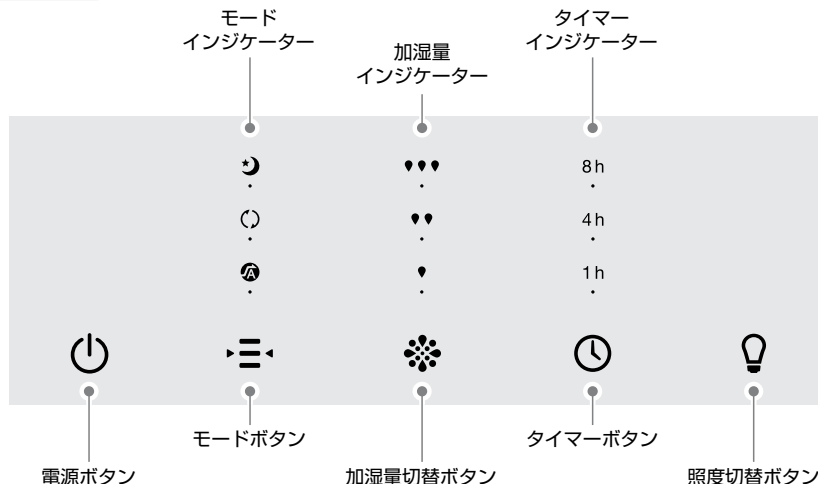
NO!



傾斜のある場所や不安定な場所、高い場所で使用しないでください。落下や転倒による水漏れや、誤動作の危険性があります。

使いかた

操作パネル



運転を開始する

電源ボタン  を押す。

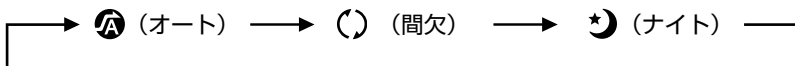
本体の水槽部が適切な水位になると、間欠モード (○) (間欠中 ● ●) で運転を開始します。
運転中に電源ボタンを押すとインジケータが消灯し運転が停止します。

- 初めてご使用になる場合や水を補給した直後など、本体の水槽部に水が無い状態から運転する場合は、適切な水位になってから運転を開始します。タンクの水量が少ない場合、10分程度かかる場合があります。
- ダクトを取り付けないまま運転を開始すると、警告音が5回鳴り、全てのインジケータが5回点滅します。ダクトを取り付けてから使用してください。

運転モードを変える

運転中にモードボタン・を押します。

運転モード(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



運転モードについて

 オート	通常はこのモードで使用します。お部屋の状態をセンサーで検知し、自動で加湿量を調節します。
 間欠	間欠モードで運転を行います。間欠モード運転中に加湿量切替ボタンを押すことで間欠加湿量を変更することができます。
 ナイト	就寝中などにタンク下部インジケーターが消灯し、加湿量控え目で静かに運転します。 また、適度な湿度(約60%以上)になると加湿運転を一時停止し、約50%以下の湿度になると加湿運転を再開します。



ナイトモードで運転中はお部屋の湿度によって加湿運転が一時停止します。連続して加湿したい場合は、オートモードをご使用ください。

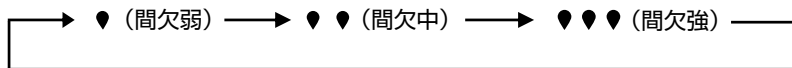
間欠モード

モードボタン・ で間欠モードを選択します。

お部屋の湿度に関係なく、間欠中レベルで運転を行います。

加湿量切替ボタンを押すことで、お好みの間欠加湿量に設定できます。✳

加湿量インジケーターは下記の順に変化します。



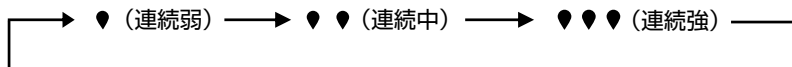
連続モード

モードボタン・ でオートモード  またはナイトモード  を選択したあと、続けて加湿量切替ボタンを押します。✳

加湿量インジケーターのみが点灯し、お部屋の湿度に関係なく、連続加湿運転を行います。

加湿量切替ボタンを押すことで、お好みの連続加湿量に設定できます。

加湿量インジケーターは下記の順に変化します。



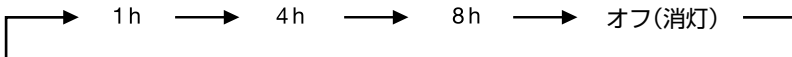
間欠モード運転中に、加湿量切替ボタンを押しても連続モード運転に設定することはできません。

タイマー運転

運転中にタイマーボタン  を押します。

指定した時刻が経過すると自動で電源オフします。

タイマー時間(インジケーター)は下記の順に変化します。



照度調整機能

照度切替ボタン  を押すと、タンク下部インジケーター、操作パネルインジケーターの明るさが切り替わります。



- ・ 明るさを設定すると運転を停止しても最後に記憶した状態を保持しておくことができます。
- ・ 操作パネルインジケーターを完全に消灯することはできません。

湿度の状態

オートモード 、および連続モード運転中は、お部屋の湿度にあわせて、タンク下部インジケーターの色が変化します。

ご使用の環境・設置場所によっては実際の湿度とずれる場合があります。

インジケーター色	現在の湿度
青	約50%以上
緑	約30～50%
黄	約30%以下
赤	湿度に関係なく給水をお知らせ

タンク下部インジケーター(間欠モード)

間欠モード運転中は、お部屋の湿度に関係なく、下記の通りタンク下部インジケーターが点灯します。

インジケーター色	運転モード
水色	間欠モード
赤	給水をお知らせ

給水のめやす

運転中にタンク内の水が少なくなると、警告音にあわせてタンク下部インジケーターが赤色に点滅してお知らせします。「タンクにピースガードを入れる」⇒p.8 にしたがって給水してください。



アロマオイルや、他社製の除菌・消臭剤は絶対に使用しないでください。

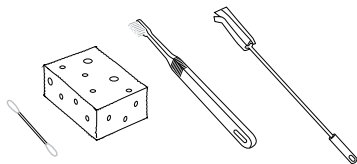
タンクや水槽部の変色、変形、割れ(水漏れ)の原因となります。

また、故障発生時にメーカー保証対象外になることがあります。

お手入れのしかた

- お手入れをせずに使用続けると、水アカなどの汚れが付着して取れにくくなったり、カビや雑菌が繁殖する原因になります。定期的にお手入れを行ってください。(週1回以上を推奨)
- 定期的なお手入れが行われない場合、汚れ等による故障発生時に、メーカー保証対象外になることがあります。

市販の綿棒やスポンジ、やわらかいブラシ、ダクト内部清掃用に柄の長いブラシを用意すると便利です。



しつこい汚れには中性洗剤を溶かした洗浄液を使用してください。

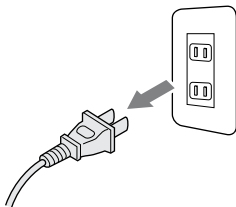


- 中性以外の洗剤は使用しないでください。本体を傷つける可能性があります。
- ニオイや故障の原因になるため、洗浄後は水道水で残った洗浄液を十分に洗い流してください。



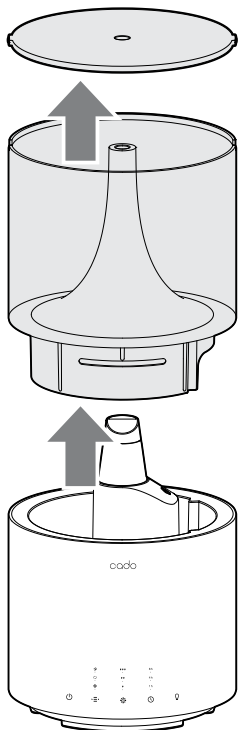
硬いブラシを使用すると霧化ユニットが傷つき、故障の原因になります。

1. 本体の運転を停止し、電源プラグをコンセントからはずします。

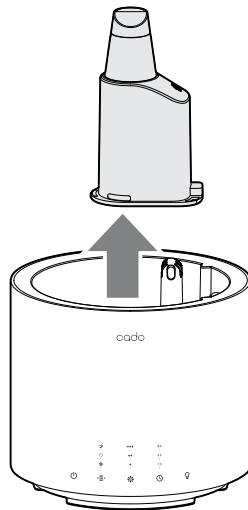


電源コードを本体からはずす場合は、先にタンクと水槽部に残った液剤を捨ててください。

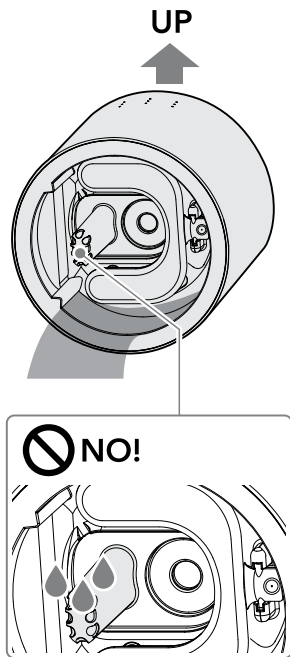
2. タンク蓋とタンクを本体から取りはずします。



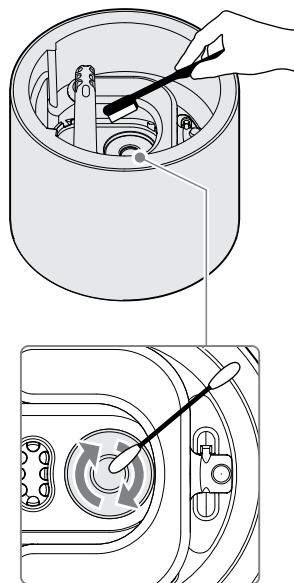
3. ダクトを本体から取りはずします。



4. 操作面を上にして水槽部に残った水を捨ててください。



5. やわらかいブラシやスポンジで水槽部を水洗いします。

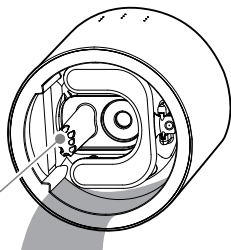
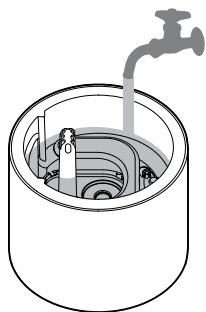


- ❗ 水槽の排水方向は必ず守ってください。
- ❗ ファン吹出口に水が入らないようご注意ください。

- ❗ 霧化ユニットは精密部ですので綿棒でやさしく表面の汚れを落としてください。

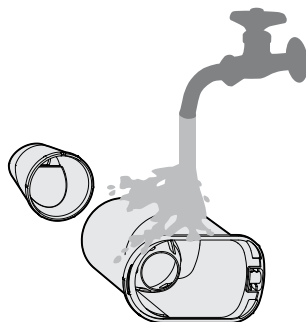
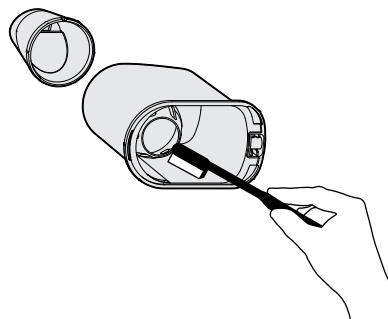
6. 水槽部を水道水でよくすすいだあと水を捨てます。

一度できれいにならない場合は、何回か繰り返して汚れを取り除いてください。

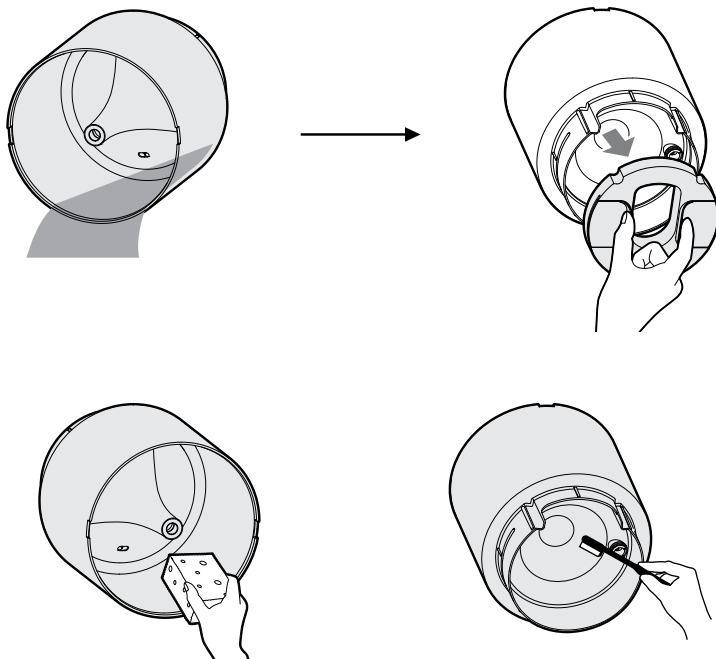


- 水槽の排水方向は必ず守ってください。
- ファン吹出口に水が入らないようご注意ください。

7. ダクトやノズルをやわらかいブラシなどで水洗いします。

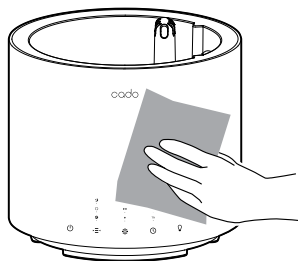
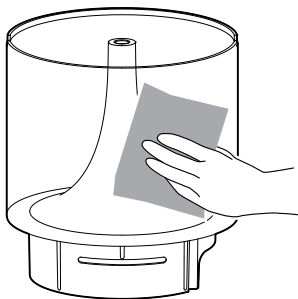
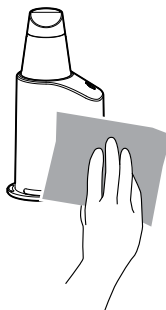
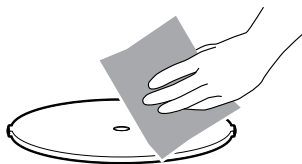


8. 残ったタンクの水を捨てタンクキャップを取りはずし、水道水でタンク内と、タンクの裏側をスポンジなどで水洗いします。

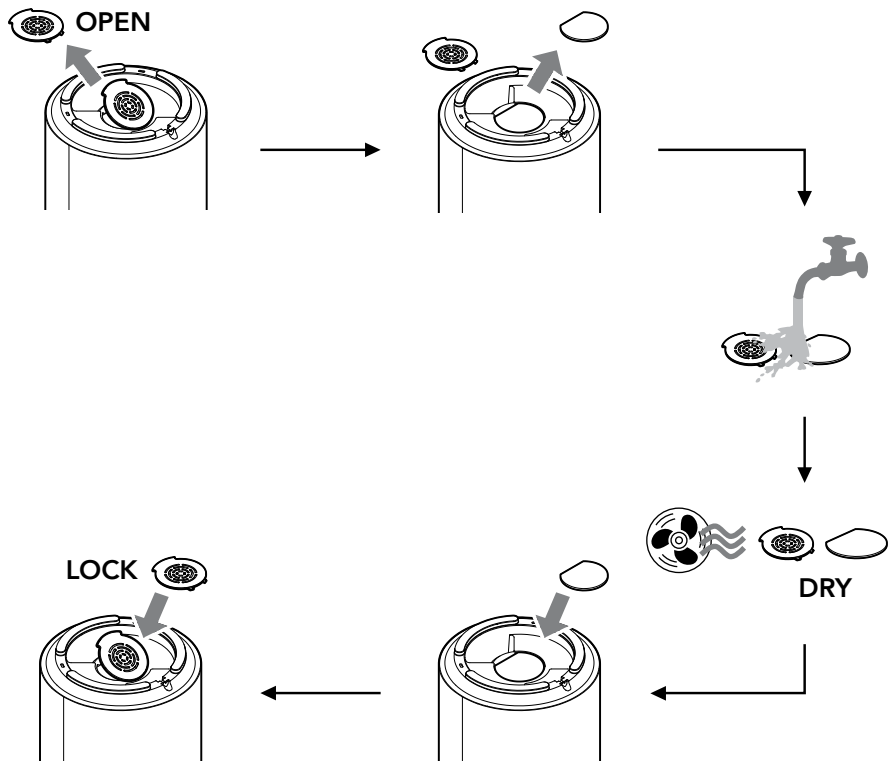


タンクは傷つきやすいので、やわらかいスポンジやブラシをご使用ください。

9. 本体、タンク、タンク蓋、ダクトの汚れや水気を、乾いた布ですべて拭き取ります。

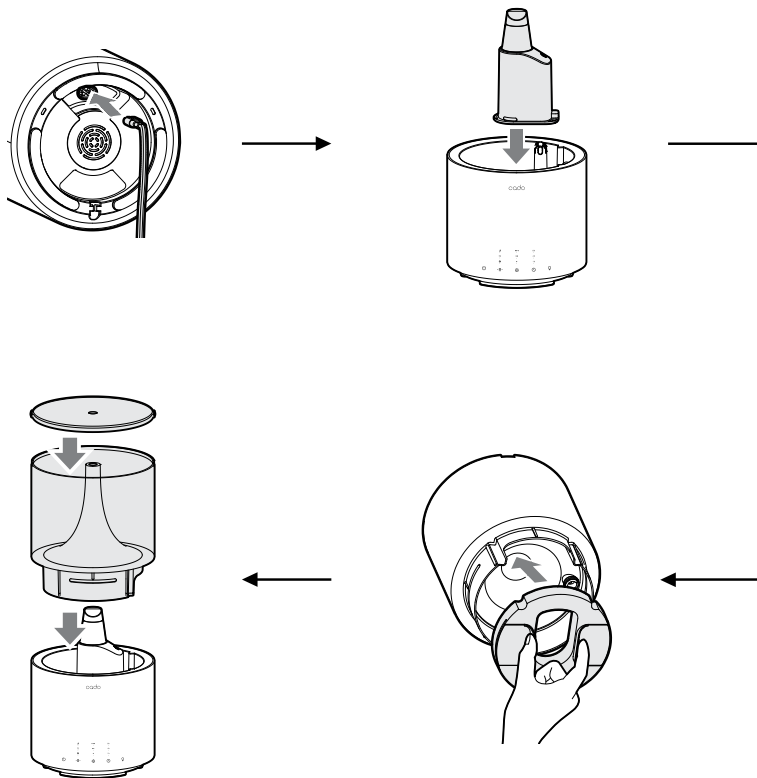


10. 本体底部のフィルターカバーとエアフィルターを取り出し水洗いします。
洗ったあとは水を切り十分に乾燥させて、再度取り付けます。



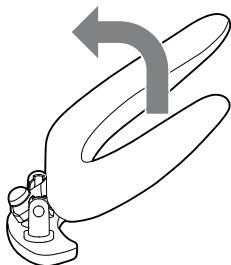
11. 再度組み立てます。

組み立ての手順は「本体の組み立て」⇒p.5 をご参照ください。

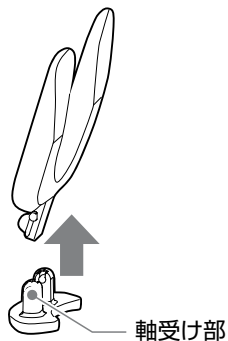


フロートの着脱方法

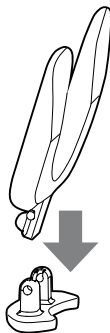
1. フロートを止まる位置まで起こします。



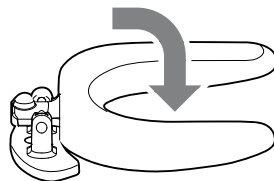
2. フロートが止まった位置から、真上に持ち上げるとフロートがはずれます。



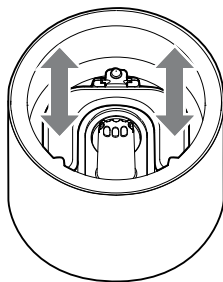
3. 取り付けの際はフロートの先端を上向きにして軸受け部に差し込みます。



4. フロートを元の位置まで倒します。



5. フロートを手で動かしてスムーズに動くことを確認してください。



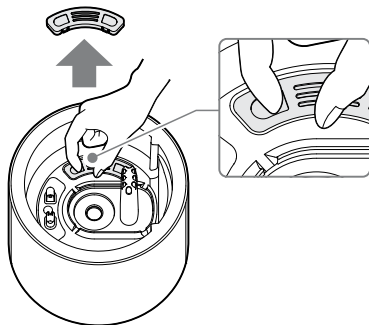
フロートが軸受け部に正しく差し込まれていない状態で、タンクとタンクキャップをセットすると水漏れが発生します。

またフロートを取り付け忘れた場合は、タンクから水槽部へ給水できなくなります。お手入れのあとは必ずフロートを取り付けてください。

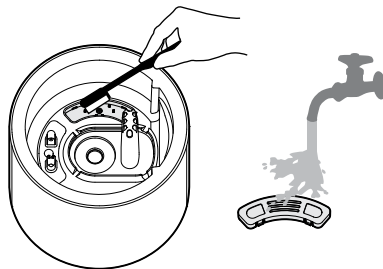
水槽部カバーのお手入れ

水槽部カバーとその内側も定期的にお手入れをしてください。

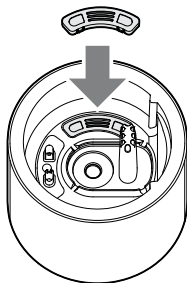
1. 水槽部カバーの穴に指をかけて取りはずします。



2. やわらかいブラシなどで水槽部と水槽部カバーを水洗いします。



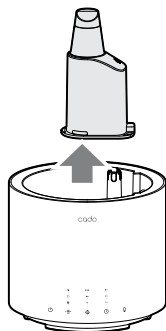
3. 水槽部カバーを元の位置に戻します。



内部乾燥機能

長時間ご使用にならない場合や、ファン吹出口から水が入ってしまった場合などに、本体に内蔵されているファンを送風運転させて、本体内部をより早く乾燥させることができます。

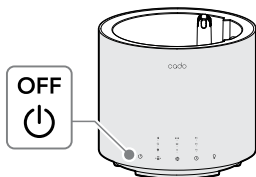
1. 本体の運転を停止し、ダクトをはずします。



2. 運転停止の状態にあることを確認の上、モードボタン・☰を10秒以上長押しするとナイトモードインジケーターが点滅し、内部乾燥機能が開始します。



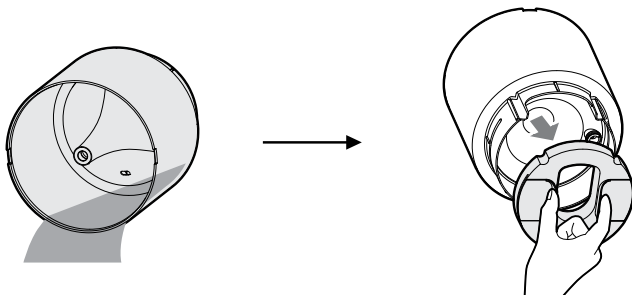
3. 電源ボタンを押すと、インジケーターが消灯し、内部乾燥機能が終了します。



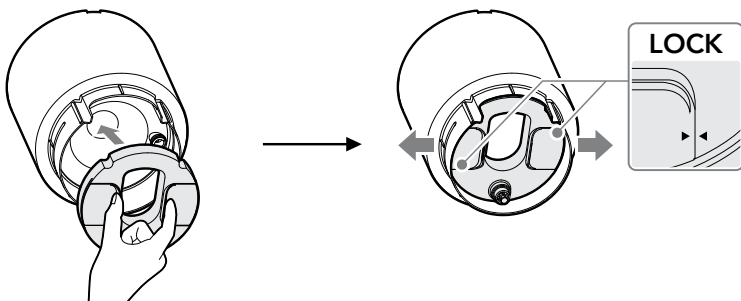
- ・ダクトをつけたままの状態では、内部乾燥機能を開始することができません。
- ・大量に水が入ってしまった場合は、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはサポートセンターへお問い合わせください。

タンクキャップの取りはずし方法

1. タンクに残っている水を捨て、タンクキャップをはずします。



2. 再度タンクキャップを取り付ける場合は、「本体の組み立て」⇒p.5をご参照ください。



タンクキャップを再度取り付けたあとは、タンクに水を入れ、タンクキャップから水漏れがないことを事前に確認してから、本体に取り付けてください。

ピーズガードについて

- ピーズガードの保管や使用上の注意に関しては、ピーズガード液剤に添付の「使用上の注意」をご参照ください。
- ピーズガードの性能を十分に発揮するため、付属のタンクキャップには水道水の硬度を下げるフィルター機能はありません。ご使用になられる水道水によっては、お部屋の床や壁面、家電製品や家具などに白い粉が付着する場合があります。これらは水道水に含まれるミネラル成分であるため、人体に影響はございませんが、設置場所には十分ご注意ください。
- ピーズガードの特性上、原液を直接噴霧すると、まれに噴霧量が低下する場合があります。水道水を先に入れ噴霧動作させた状態からピーズガードを徐々に入れていくことで噴霧が安定しやすくなります。
- 本機はピーズガードの噴霧を目的に設計されております。ピーズガード以外の液剤を噴霧したことによる故障又は損害などに関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

長期間使用しない場合

- 「お手入れのしかた」⇒p.15 にしたがってお手入れをしたあと、タンクキャップを取りはずし、タンクキャップの下部についている弁を押して、タンクキャップの中に残った液剤を捨ててください。また、水洗いした部品すべてを十分に乾かしてください。
- お買い上げ時の箱に入れるなど、高温多湿、直射日光を避けてゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

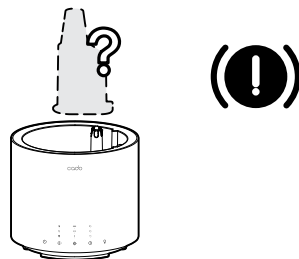


十分に乾燥させないまま収納しないでください。カビの発生や悪臭の原因になります。

安全機能について

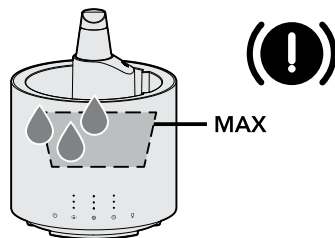
ダクト検出

ダクトを取り付けずに動作を開始した場合や、運転中にダクトが取りはずされた場合、運転が停止し、すべての操作パネルインジケータが点滅、警告音が5回鳴ります。



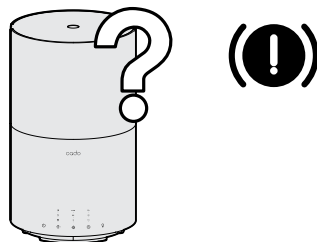
異常水位検出

水槽部で異常水位を検出した場合、運転が停止し、すべての操作パネルインジケータが点滅、(タンク下部インジケータは白色で点滅)警告音が連続して鳴り続けます。運転を停止し、水槽部の水を減らしてください。



本体動作異常検出

本体内部でファンの回転異常やセンサーの異常等を検出すると運転が停止し、一部の操作パネルインジケータが点滅、警告音が5回鳴ります。
「故障かな？」⇒p.30をご参照ください。



故障かな？

症状	確認事項	対処
電源が入らない	電源コードが本体およびコンセントに差し込まれていますか？	電源コードを本体およびコンセントにしっかりと差し込んでください。
タンク下部インジケータが赤色に点滅する	タンクに水が入っていますか？	タンクに水を補給してください。
タンクに水が入っているのに、タンク下部インジケータが赤色に点滅する	本体の水槽部に水が無い状態から開始していませんか？ フロートを取り付け忘れていませんか？	加湿運転が可能な水位になるまでお待ちください。 タンクを満水にするとより早く運転を開始します。 「フロートの着脱方法」⇒p.23にしたがい、正しくフロートを取り付けてください。
電源ボタンを押しても加湿しない	タンクの水が少ない状態で運転を開始していませんか？ 精製水や蒸留水を使用していませんか？	タンクの水量が少ない場合は水を補給してください。 水位検出が正常にできないためご使用になれません。
警告音が5回鳴り、すべての操作パネルインジケータが点滅する	ダクトが正しくセットされていますか？	ダクトが正しくセットされていない場合は、正しくセットしてください。

症状	確認事項	対処
警告音が鳴り続け、すべての操作パネルインジケーターが点滅する (タンク下部インジケーターも白色に点滅)	水槽部が異常水位をこえたか、ファン吹出口から本体内部に水が入った可能性があります。 タンクキャップは正しく取り付けられていますか？ タンクキャップから水漏れしていませんか？ フロートは正しく取り付けられていますか？	運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いた上で水槽部の水を捨ててください。ファン吹出口に水が入った場合は、本体を十分に乾燥させてから運転を再開してください。 「本体の組み立て」⇒p.5 にしたがい、正しくタンクキャップを取り付け直してください。 「フロートの着脱方法」⇒p.23 にしたがい、正しくフロートを取り付けてください。
警告音が5回鳴り、操作パネルインジケーターの一部が点滅する (例:オート/間欠/ナイトインジケーターの3つが同時に点滅)	自己診断機能でエラー検出しています。どのインジケーターが点滅しているかご確認ください。	サポートセンターにご連絡の際は操作パネルインジケーターのどの部分が点滅しているかお伝えいただくことでトラブル解消の助けになることがあります。

症状	確認事項	対処
加湿量が少ない	水槽部の水位が高くなりすぎていませんか？	水槽部の水をすべて捨て、水の入ったタンクを再装着してお試しください。
	オートモードやナイトモードで運転していませんか？	湿度が高い場合は加湿量が少なくなるように自動制御します。
	設置場所の温度が高すぎ(低すぎ)ませんか？	水温によって霧化量が変動することがありますが、不良ではありません。
	霧化ユニットが汚れていませんか？	「お手入れのしかた」⇒p.15にしたがって霧化ユニットのお手入れをしてください。
	ピーズガードの濃度が高すぎませんか？	ピーズガードの濃度が高いと加湿量が少なくことがあります。水道水で希釈することで霧化しやすくなります。

症状	確認事項	対処
加湿量が多い	設置場所の温度が高すぎ (低すぎ)ませんか？	水温によって霧化量が変わることがありますが、不良ではありません。 霧化量が多すぎる場合は間欠モードなどをご使用ください。
本体のニオイが気になる	タンクに水を入れてから長期間経過していませんか？ 本体やタンク、タンクキャップが汚れていませんか？	「お手入れのしかた」⇒p.15 にしたがって、十分に清掃を行ってください。

症状	確認事項	対処
本体の底部から水漏れする	お手入れ時にファン吹出口に誤って水が入りませんでしたか？	すぐに電源プラグを抜き水槽内の水を捨ててください。 その後、十分に乾燥させた上で、再度ご使用ください。 (内部乾燥機能⇒p.26)
警報音が連続して鳴り続け、すべての操作パネルインジケータが点滅する。また、タンク下部インジケータが白色で点滅する(異常水位検出)	精製水や蒸留水を使用していますか？	水位検出が正常にできないためご使用になれません。
	動作中にタンクの取り付け・取りはずしをしていますか？	水槽部の水位が変化し、まれにファン吹出口から入ることがあります。取り付け時はゆっくりとタンクを差し込んでください。
インジケータの明るさが自動で変わらない	本体水槽部やタンク、タンクキャップにひび割れなどが入っていますか？	本体に損傷が発生した場合はサポートセンターまでお問い合わせください。
	本機には自動で明るさを調整する機能はありません。	「照度調整機能」⇒p.13 にしたがって、お好みの照度に調整してください。

仕様

型名	PG-E300
電源	100 V 50-60 Hz
適用床面積 ^{※1}	木造和室: 11 m ² (7畳) プレハブ洋室: 18 m ² (11畳)

	運転モード	弱	中	強
加湿量[mL/h] ^{※2}	間欠	15	30	初期10分間連続: 400 10分以降: 60
	連続	100	200	300
消費電力[W]	間欠	3	5	11
	連続	16	21	26
運転音[dBA] ^{※3}	間欠	26	30	33
	連続	26	30	31

外形寸法	直径 約210 mm × 高さ 約354 mm
質量	約3.3 kg(水道水を含まない)
タンク容量	約3.5 L
電源コード長	約1.8 m
付属品	取扱説明書、安全上のご注意、保証書、電源コード

※1 日本電機工業会規格JEM1426に基づく試験方法により算出。(400mL/h噴霧時)

※2 水道水のみ、水温が20℃の場合。室内の温度や湿度によって加湿量は変わります。

※3 加湿動作中における最大値となります。

仕様および外観は改良のため予告なく変更する事があります。

製品に関する最新情報
使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は
カドーサポートサイト

<https://cado.com/jp/support/>



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

0120-707-212

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00

土・日・祝、弊社休業日を除く

本製品は国内専用です。電源や法規制の異なる海外では使用できません。

国外に持ちだされた製品は、保証期間内であっても修理サービスの適用外です。

This product is for domestic use only and cannot be used in any other country with different voltages, frequencies, laws and regulations.

The warranty is only valid in the country the product was purchased and the product brought outside the country is not eligible for warranty repair services.

株式会社カドー

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11

cado

取扱説明書

安全上のご注意

Deodorizing Sanitizer

PG-E 300

安全上のご注意

本書について

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項について記載してあります。ご使用前に、この「安全上のご注意」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を未然に防止するため、本書に記載されている内容は必ずお守りください。誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を区分した上で記載しています。

表示の説明



警告

「死亡または重傷を負うおそれがあること」を示します。



注意

「傷害を負う、または財産に損害を与えるおそれがあること」を示します。

図記号の説明



禁止

「してはいけない禁止事項」を示します。



指示

「必ずしなければならない強制事項」を示します。

警告

禁止

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**
感電の原因になります。

■ **電源コードを破損させない。**

ショートや断線して感電や火災の原因になります。

- 加工したり、傷つけたりしない。
- 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コード部分を持って引き抜かない。
- 持ち運び時に電源コードを引っ張らない。

■ **定格電圧以外で使わない。**

火災や感電の原因になります。

■ **延長コードの使用やたこ足配線、配線器具の定格を超える使い方をしない。**

感電や発熱による火災の原因になります。

■ **分解、改造、修理しない。**

火災や感電、ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

■ **本体を水につけたり、丸洗いしない。**

本体内部の基板などに水が入ると、ショートによる火災や、感電の原因になります。

■ **吹出口、水槽部、本体のすき間などに指や金属物などの異物を入れない。**

ケガ・感電・ショート・発火の原因になります。

■ **お手入りに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。**

洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害するおそれがあります。また、本体の破損や変形、割れによる水漏れの原因となります。

■ **雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグには触れない。**

感電のおそれがあります。

警告

指示

■ 電源プラグは、根元までしっかり差し込む。

差し込みが不完全だと、感電や火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、差し込みがゆるいコンセントは使わない。

■ 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭き取る。

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

■ 使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。

不意に動作した場合、感電やケガの原因になります。

■ 異臭や、機器の異常を感じたときは、使用をただちに中止する。

電源プラグを抜き、サポートセンターまでご相談ください。

■ お年寄り、お子様、体の不自由な方、意思疎通が困難な方には、保護者や安全責任者から適切な指導監督を受けない限り、単独で使用させない。

■ お子様が玩具として遊ばないように注意する。

思わぬケガや誤飲、本体故障または感電の原因になります。

注意

禁止

■ 不安定な場所には置かない。

転倒すると、水漏れや故障の原因になります。

■ 本体の上に物を置いたり、乗ったりしない。

転倒により、破損・故障の原因になります。

■ 本体を傾けたり、さかさまにしない。

水漏れや、タンク蓋やタンクなどが落下し、思わぬケガの原因となります。

注意

禁止

- タンクの取り付け・取り外しをむやみに繰り返さない。

振動などで水があふれるおそれがあります。

- タンクやノズルをはずしたまま使用しない。

水が噴き出し、周囲が濡れて損害が出るおそれがあります。

- 凍結に注意する。

凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨ててください。

- タンクの水は毎日新しい水道水に入れ替える。タンクに水道水以外の水は入れない。

飲料用の水道水は塩素成分により雑菌が繁殖しにくいですが、時間経過とともに効果が低減します。また、水道水以外を使用すると、雑菌繁殖の原因となったり、化学変化によりタンクや水槽の割れ(水漏れ)の原因になります。入れてはいけない水：

精製水、蒸留水、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水、40℃以上の温水、化学薬品、芳香剤、洗剤、アロマオイル

- ピーズガード*¹以外の除菌・消臭液は使用しない。

酸性タイプの製品をピーズガードに混ぜると有害ガスが発生する危険があるため、併用・混合はしないでください。

*¹除菌・消臭剤ピーズガードは株式会社ピーズガード社の登録商標です。

- 直射日光の当たる場所やエアコン、暖房器具の風の当たる場所には置かない。

本体の変形や変色、故障の原因になります。

- 電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多い場所では使用しない。

磁気の影響で正常に動作しないことがあります。

- テレビやラジオの近くでは使わない。

映像の乱れや雑音の原因になります。(テレビやラジオからは、1m 以上離して設置してください。また、これらの機器と一緒にコンセントに電源プラグを差し込むと、映像の乱れや雑音が発生することがあります。その場合は、別のコンセントに電源プラグを差し込んでください。)

注意

指示

■ ファン吹出口に水が入らないように注意する。

本体内部の基板などに水が入ると、ショートや故障の原因になります。

■ 本体のお手入れは週1回以上行う。

お手入れを行わずに使用し続けると、カビや雑菌が繁殖したり、汚れや水アカが付着することで加湿量の低下や、故障の原因になることがあります。

また、まれにアレルギー体質などの方が過敏に反応し、健康を害するおそれがあるので、取扱説明書の手順にしたがい、必ずお手入れをしてください。

■ 壁や水気を嫌うものから離して使用する。

霧がかかるとカビやシミ、変色の原因になります。また、電子機器等が故障するおそれがあります。

■ 本体から水が漏れてきた場合はただちに電源プラグを抜き、タンクおよび水槽部の水を捨てる。

本製品は万が一本体内部に水が入った場合、本体底部から外部に排水されるよう設計されています。

誤ってファン吹出口から水が入るなどの理由で、本体底部から水が漏れてきた場合は、十分に乾燥させた上で、再度正しい手順でご使用ください。

家財などの損害が予測される場所でご使用になる場合はトレーやシートなどを敷いてお使いください。

製品に関する最新情報
使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は
カドーサポートサイト

<https://cado.com/jp/support/>



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

0120-707-212

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00
土・日・祝、弊社休業日を除く

株式会社カドー

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11

